

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク
公演団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク

内容
<p>『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』の出演者やスタッフと演劇の表現方法を用いたワークショップを行います。子どもたちの想像力とコミュニケーション力を養うとともに、作品のイメージを共有することで、より豊かな本公演の鑑賞につなげていきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・最初に講師の自己紹介と本公演の作品紹介を行います。・ストレッチで身体をほぐし、出演者が普段から演技のトレーニングとして行っているシアターゲームをします。・身体と気持ちが温まったところで、10名程度のチームに分けて、出演者やスタッフと一緒にお芝居作りをします。お芝居が完成したら他のチームと見せ合い、感想を伝え合います。 <p>※1回につき45～50分を予定。基本は学級毎に行います。</p>

タイムスケジュール（標準）
8:30～9:30 準備、打ち合わせ 9:30～11:30 ワークショップ（途中休憩あり） 片づけ後、撤収
※学校、会場の都合により一部変更する場合があります。

派遣者数
6名

学校における事前指導
特にありません。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク
公演団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク

演目
『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』 原作 宮沢賢治 上演台本 佃典彦 演出 西沢栄治 美術 長田佳代子 音楽 園田容子 照明 横原由祐 音響 島猛 衣裳 仲村祐妃子 振付・ステージング：神在ひろみ 舞台監督 荒牧大道

派遣者数
合計 18 名 (出演者 6 名、スタッフ 12 名)

タイムスケジュール (標準)
8:00～12:30 設営 12:30～13:30 リハーサル、練習 13:30～14:35 本公演 15:00～17:30 撤収

実施校への協力依頼人員
・下見の際に、体育館の設備について詳しい方とお話させて下さい。体育館や隣接の校舎の配電盤を開けさせていただきます。搬入トラックの動線を確認させていただきます。

演目解説

【あらすじ】

舞台はフランドン王国にある農学校。飼われているブタはなんでも食べる食いしんぼう。生徒たちから、「糞や水から、肉や脂肪をつくる」不思議な力を持っている生きもの、なんていわれて自慢げだ。しかしある日、王様から「食肉にする時には、その家畜の許可が必要だ」という法律が発令されて…？

【みどころ】

宮澤賢治の2つの童話『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』を原作にした、ユーモラスでシリアスな「いのち」と「食」をつなぐ大人も子どもも楽しめる舞台です。ミュージカル仕立ての分かりやすいストーリーで“命の大切さ”“食べることの意味”を伝えます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【参加方法】

- ・客席に逃げ出したブタを探そう（観客全員）

劇の途中で、食べられてしまうかもと不安を感じたブタは客席へ逃げ出します。他の登場人物たちもブタを追って客席にやってきます。出演者が子どもたちにブタの居場所を聞いてまわりますので、子どもたちには受け答えをしてもらいます。

- ・ブタ役として出演しよう（1名）

登場人物は劇の中で「ブタ鼻をつけた人がブタになる」というルールがわかっていきます。皆でブタ鼻を誰かに付けようと鬼ごっこをするうちに、客席におりていき、観ている子どもにブタ鼻をつけてしまいます。ブタ鼻をつけられた子どもはブタ役になって、お芝居をしてもらいます。（ブタ役は事前に決めます。当日にお芝居の簡単な打合せをします。）

児童生徒とのふれあい

- ・事前に劇中歌の音源を送り、給食の時間などに流してもらいます。劇中歌を聴いてもらうことで、作品に親しみを持ってもらいます。
- ・本公演終演後に、感想や質疑応答の時間を取ります。
- ・子ども達が退場の際には出演者たちが見送りを行います。
- ・本公演後に送ってもらう感想文のなかには質問も書かれているので、返事を書いて送ります。